

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2019年1月 検針分)

2018年8月～2018年10月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2019年1月 検針分の単位料金は、2018年12月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
+ 2.18 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 + 56 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	2018年12月 (A)	2019年1月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	230.75	232.93	+ 2.18
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	172.76	174.94	+ 2.18

●平均原料価格

	単位	2018年7月 ～ 2018年9月	2018年8月 ～ 2018年10月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	58,850	61,240	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	67,140	70,110	
平均原料価格	円/トン	59,520	61,950	46,100

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9541 + LPG平均価格 × 0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\ &= 61,950 - 46,100 = 15,800 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{調整単位料金} = \text{基準単位料金} + 0.084 \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \quad (\text{小数点第3位以下の端数切捨て})$$

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2019年1月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	218.60	232.93	14.33
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	160.61	174.94	14.33

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2018年12月	(B) 2019年1月	影響額 (B)-(A)
26	6,623	6,679	+ 56

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)